

プロジェクタースクリーン壁掛け式(EEX-PSG1-100HDTシリーズ)組立説明書

この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の内容を組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

Ver1.2

組立説明書は大切に保管してください。
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

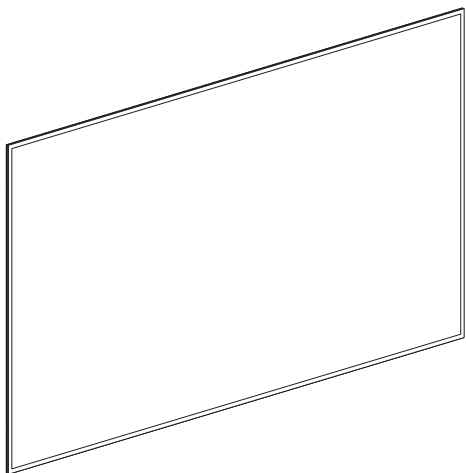
<用意していただくもの>
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)、
鉛筆、電動ドリルなど

必ずお守りください

本製品の取付けには特別な技術が必要ですので、
必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

※販売店様・工事業者様へ

- 組立説明書をよく理解していただいたうえで取付けてください。
- お客様の安全のため、専門的に壁面を診断のうえ、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて取付けてください。
- 組立説明書で指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。
- 取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面にネジ穴、アンカーが残ります。ご了承ください。



<注意>

本製品の組立て作業は必ず大人2人以上で
行ってください。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

この組立説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになります。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。

この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。

この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

■ 取付け場所について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

強度が不十分な壁面や垂直でない壁面、平面でない壁面には取付けしないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

湿気、温度の高い場所や、屋外、油煙のある場所には取付けしないでください。
火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。

通風孔をふさぐような場所や、天井には取付けしないでください。
火災、故障、感電または落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

壁面は本製品の重量に長期間耐える十分な強度が必要です。
強度が足りないと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。
強度が足りないと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

必ず柱や梁などの堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。
芯材がない場所では強度が足りず、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

壁面への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合場合があります。
その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。

注意 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性
または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

各家屋によって壁面の構造や強度は異なります。工事業者様が専門的に壁面を診断のうえ、
最適な取付け方法を決めて工事してください。

本書に記載してある取付け方法は一例として参考にご覧ください。

鉄柱や鉄骨には取付けできません。

■ 取付け方法について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

専門の取付け工事業者以外は取付け工事を行わないでください。
工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

取付け作業は必ず大人二人以上で行ってください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

■ 取付け後のご使用について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

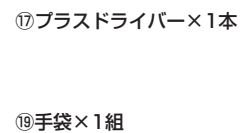
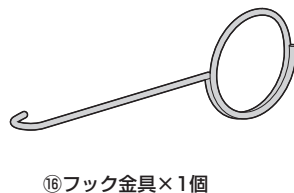
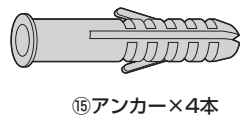
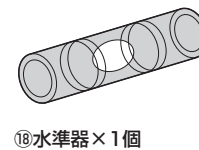
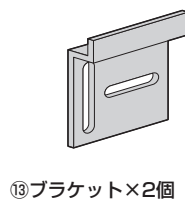
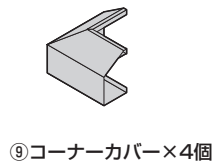
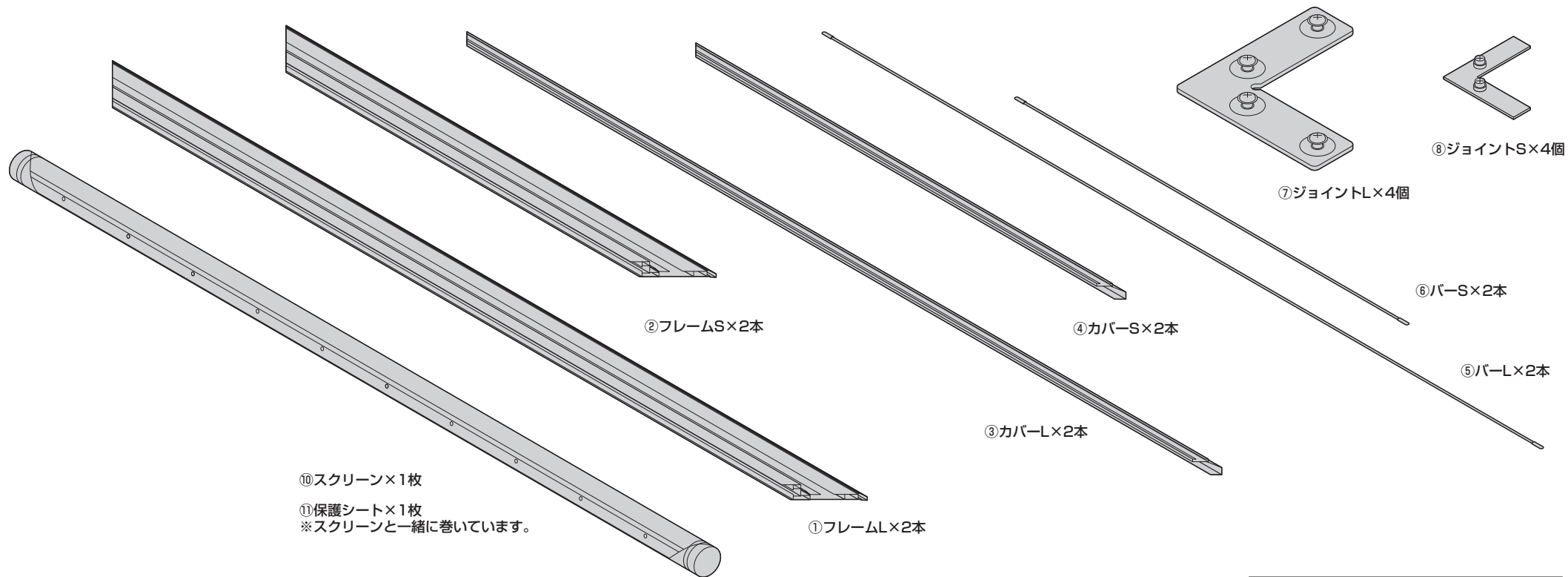
ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

ぶら下がったり押し上げたりなど、荷重をかけないでください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

ボルトの調整、取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。
不用意に行くと、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

お子様に触れさせないよう十分ご注意ください。
落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。

組立て部品



<使用ボルト>

⑭タッピングボルトA×4本 (5×40)

<予備のボルト>

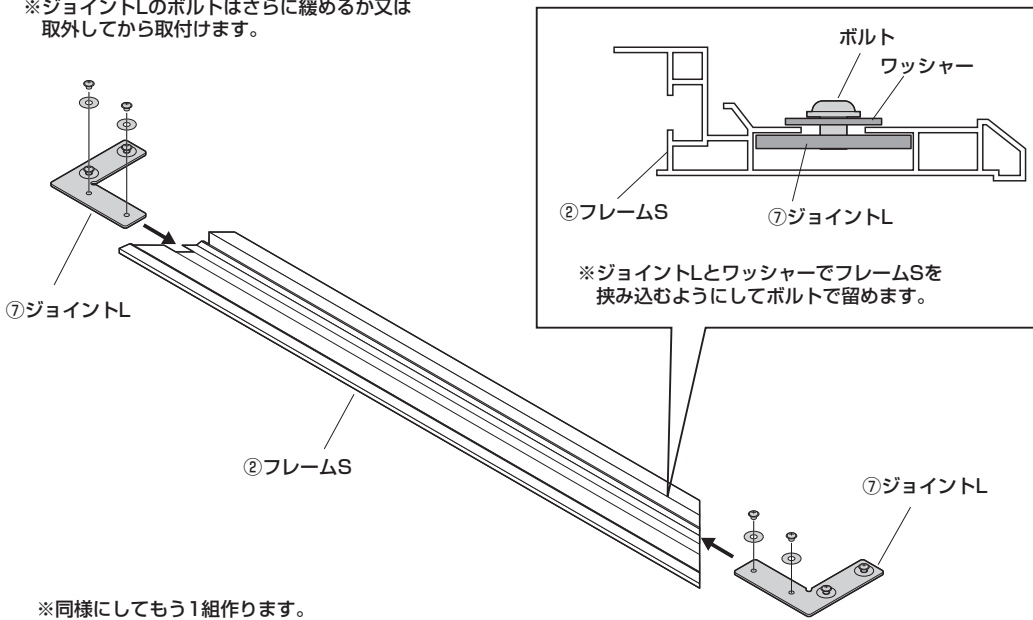
⑳ボルトB×2本 (M5×6)
※ジョイントLのボルトです。

㉑ネジC×1本 (M5×6)
※ジョイントSのネジです。

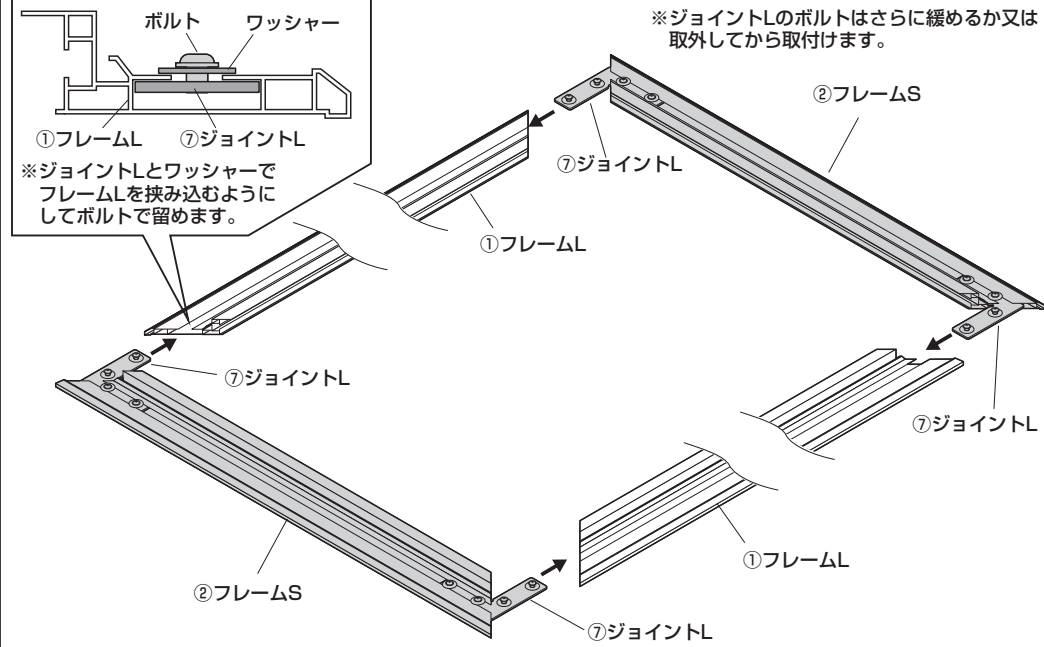
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-PSG1-100HDTなど)と上記の部品番号(①～㉑)と部品名(コーナーカバーなど)をお知らせください。

1. フレームSにジョイントLを取付けます。

※ジョイントLのボルトはさらに緩めるか又は取外してから取付けます。

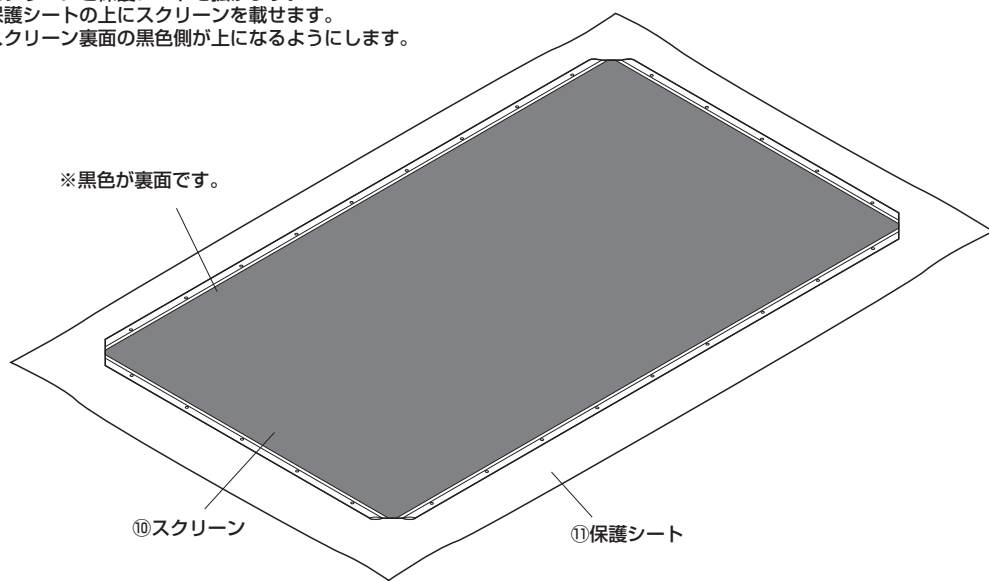


2. フレームLにフレームSを取付けます。

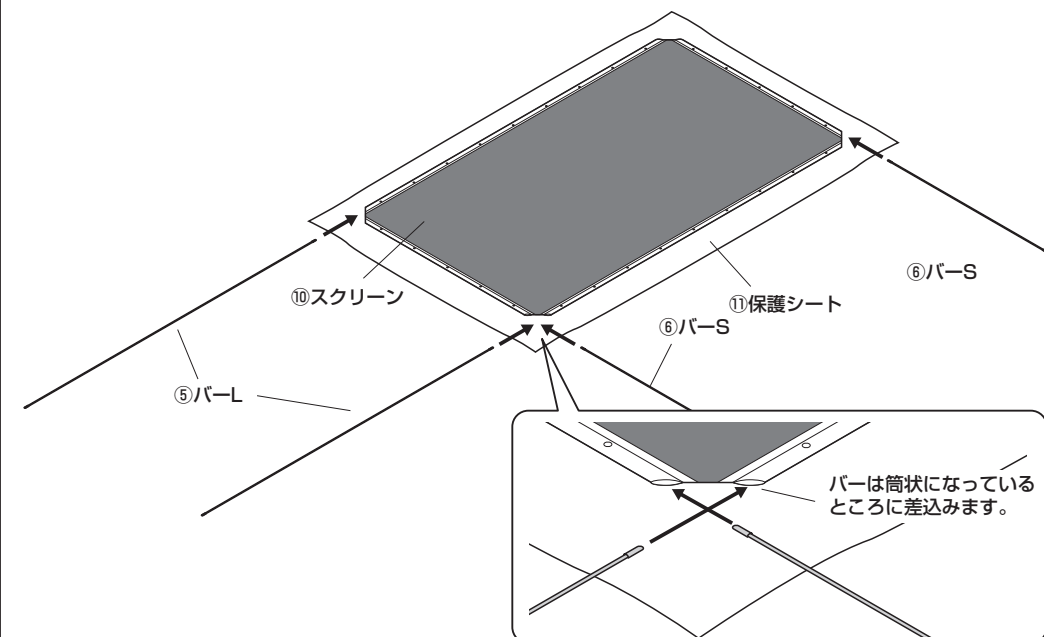


3. 保護シートの上にスクリーンを拡げます。

- (1)スクリーンを汚さない為に付属の新しくきれいな手袋をはめます。
 - (2)スクリーンと保護シートを拡げます。
 - (3)保護シートの上にスクリーンを載せます。
- ※スクリーン裏面の黒色側が上になるようにします。



4. バーをスクリーンに差込みます。

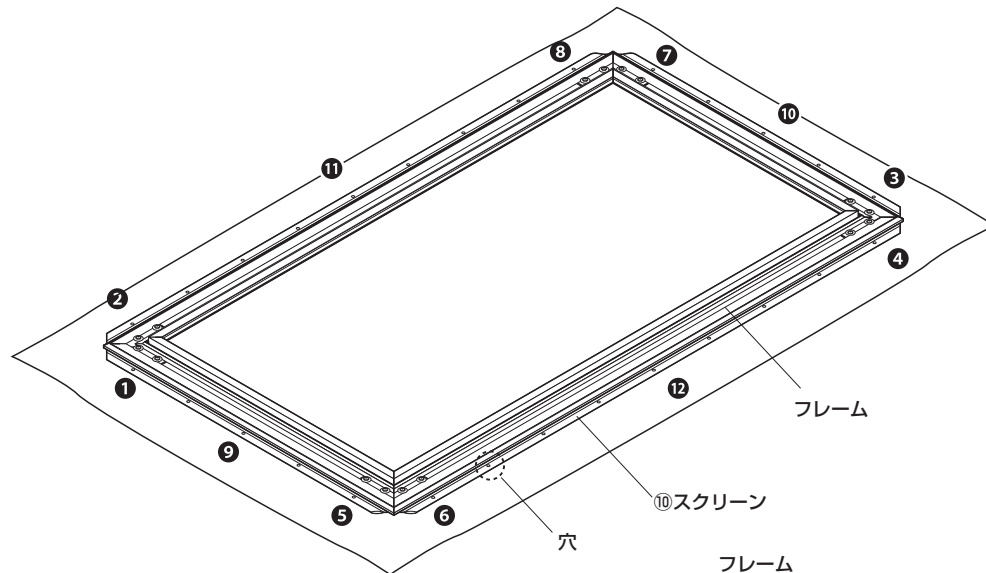


5. スクリーンをフレームに取付けます。

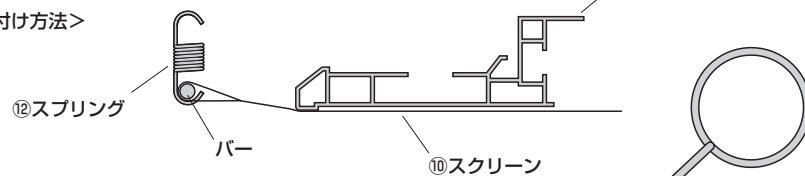
- (1)フレームをスクリーンの中央に置きます。
 - (2)①～⑧の順に四隅をスプリングで取付けます。
 - (3)⑨～⑫の順に各辺の中央をスプリングで取付けます。
 - (4)残りの穴も同様にスプリングで取付けます。
- ※スクリーンのサイズごとに穴の数は異なります。
 ※向かい合った辺の穴を交互に取付けてください。
 片側だけ先に取付けるとスクリーンにしわがでることがあります。

スクリーンのシワを抑えるコツ

動画で
チェック →



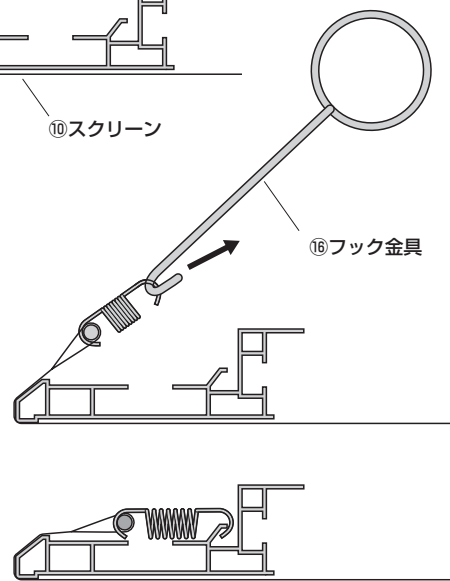
<スプリングの取付け方>



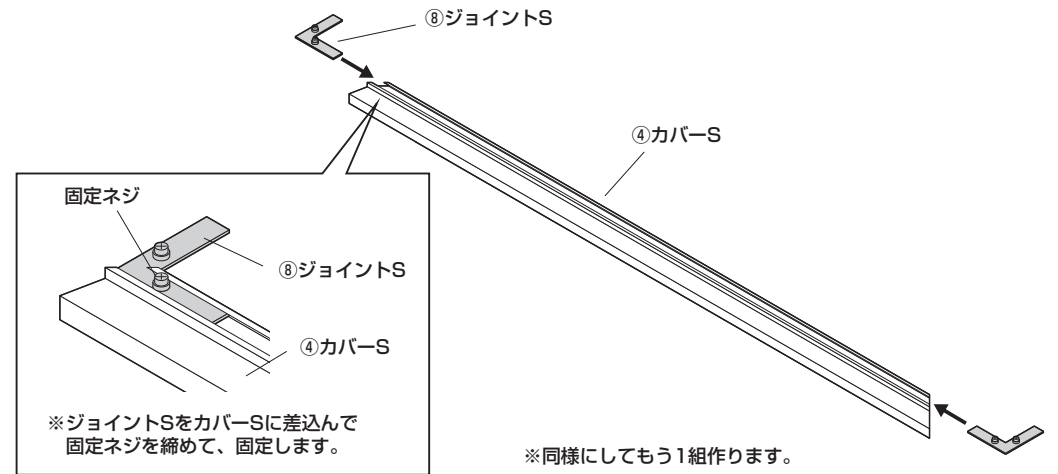
- (1)スプリングの片方をスクリーンの穴に差込みバーに引っ掛けます。

- (2)スプリングのもう片方にフック金具を引っ掛けて引っぱります。

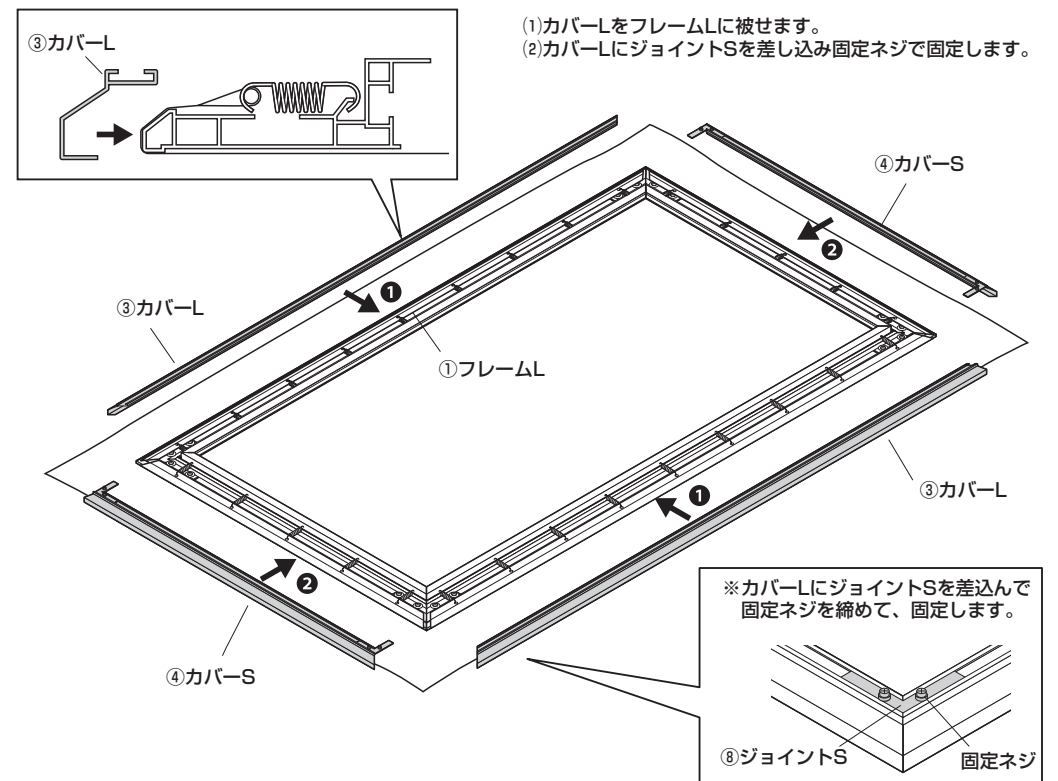
- (3)右図のようにスプリングをフレームに引っ掛けます。



6. カバー S にジョイント S を取付けます。

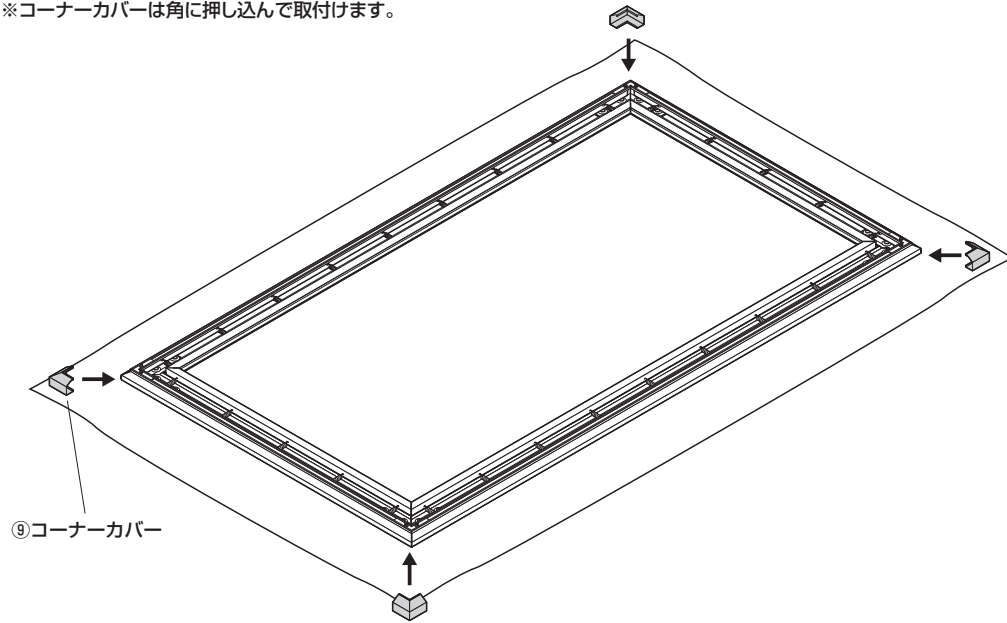


7. カバー S とカバー L を取付けます。



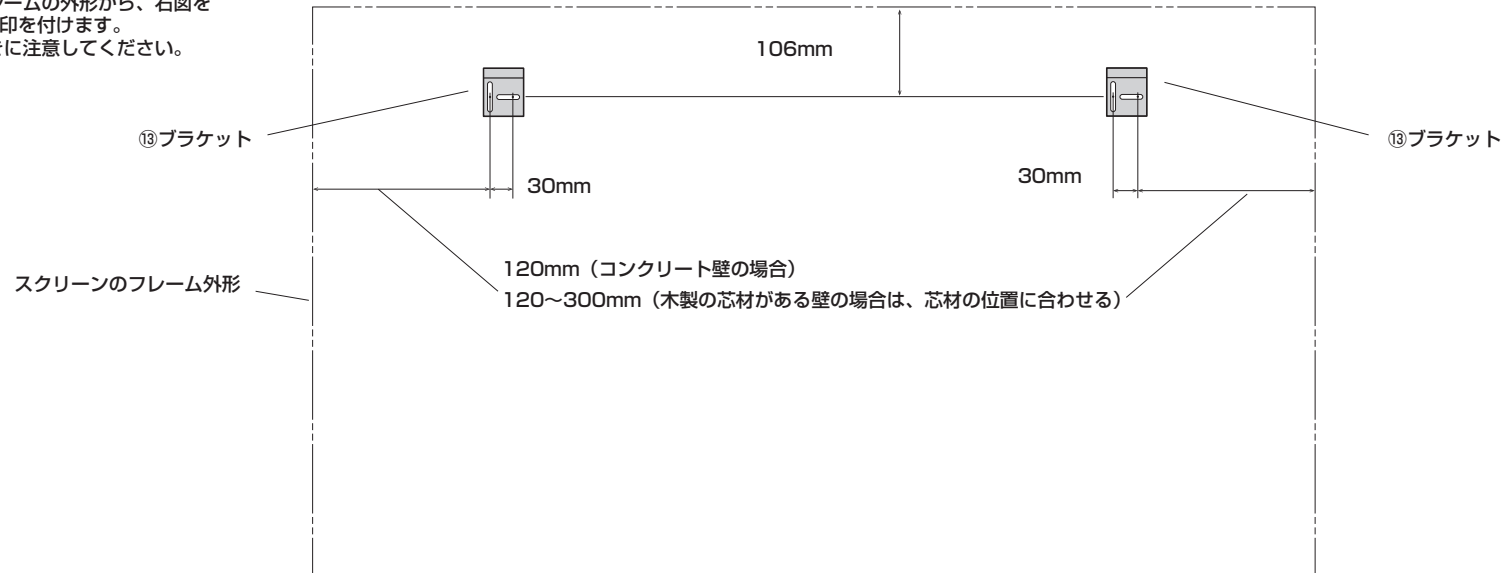
8. 四隅にコーナーカバーを取付けてスクリーンは完成です。

※コーナーカバーは角に押し込んで取付けます。



9. 壁面にブラケットの取付け位置の印をつけます。

- (1)取付ける壁にスクリーンの位置を決めます。
 - (2)スクリーンのフレームの外形から、右図を参考にして4ヶ所印を付けます。
- ※ブラケットの向きに注意してください。

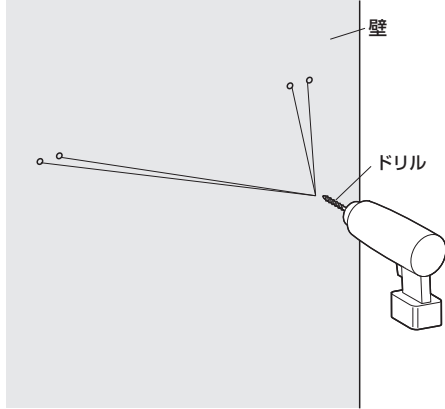


10. ブラケットを壁面に取付けます。

※必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取付けてください。壁面はスクリーンの重量に長期間耐える十分な強度が必要です。

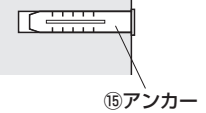
<コンクリートの壁への取付け>

- (1)ドリルを使い壁に印をつけた4ヶ所に直径8mm、深さ約40~45mmの下穴をあけます。



横から見た断面図

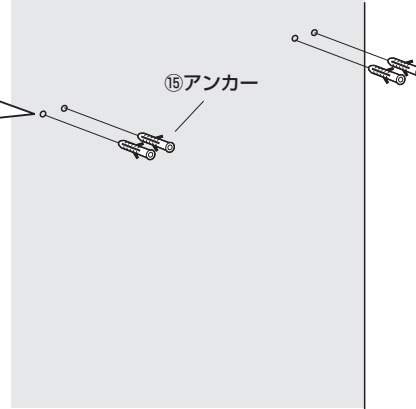
壁内部



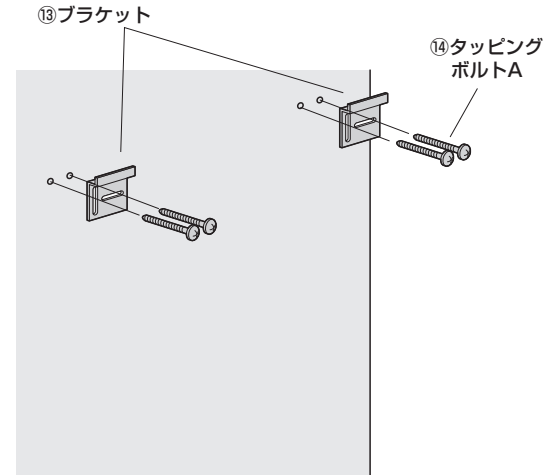
⑮アンカー

※アンカーは最後まで押し込みます。

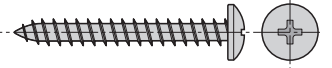
- (2)下穴にアンカーを差し込みます。



- (3)タッピングボルトAでブラケットを固定します。



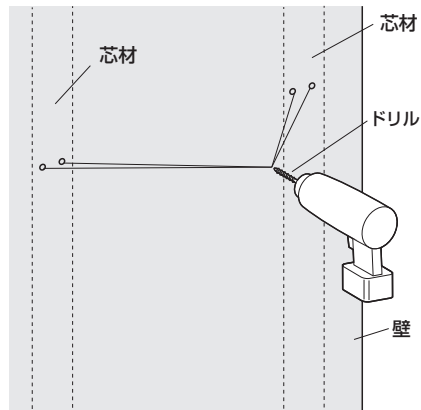
<使用ボルト>



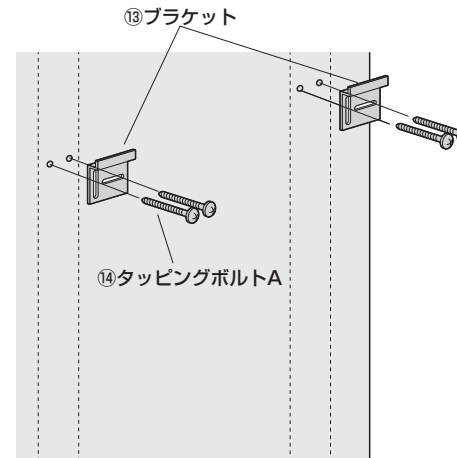
⑭タッピングボルトA (5×40)

<木製の芯材がある壁への取付け>

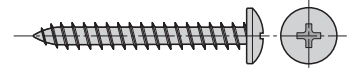
- (1)ドリルを使い壁に印をつけた4ヶ所に直径4.5mm、深さ約40mmの下穴をあけます。
※壁の強度を考慮して取付け業者の方が穴の直径と深さを判断してください。



- (2)タッピングボルトAでブラケットを固定します。

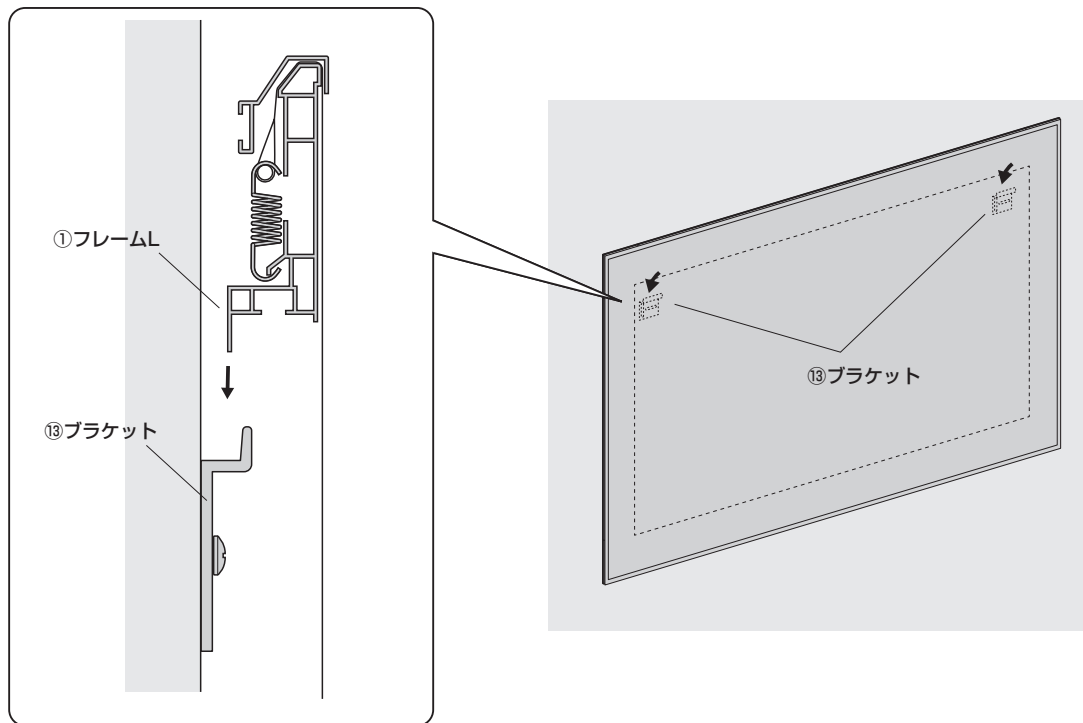


<使用ボルト>



⑭タッピングボルトA (5×40)

11. ブラケットにスクリーンを掛けて完成です。



使用上のご注意

- 必ずコンクリートの壁か、もしくは壁の内部に木製の芯材がある場所に取付けてください。壁面は本製品の重量に長期間耐える十分な強度が必要です。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店までお気軽にご相談ください。

CD/AB/KTDaC